

排出源モニタリング結果（令和 4 年度）

○北九州 PCB 処理事業所（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

要素	調査項目	結果（最大値等）	管理目標値他	規制値（参考）	頻度
排気 (1期)*1	PCB	洗浄系 解体撤去中 液処理系 解体撤去中 その他 不検出 (<0.000001mg/N m ³)	0.005mg/N m ³ 以下	0.1 mg/N m ³	年 4 回
	ダイオキシン類	洗浄系*1 解体撤去中 液処理系 解体撤去中 その他 0.0000037 ng-TEQ/N m ³	0.08ng-TEQ/N m ³ 以下	0.1ng-TEQ/N m ³ 以下	年 2 回
	ベンゼン	液処理系 解体撤去中 換気系 不検出 (<0.09mg/N m ³)	45mg/N m ³ 以下	50 mg/N m ³ 以下	年 4 回
排気 (2期)*2	PCB	前処理系 不検出 (<0.000001mg/N m ³) 液処理系 不検出 (<0.000001mg/N m ³) プラズマ系 不検出 (<0.000001mg/N m ³) その他 不検出 (<0.000001mg/N m ³)	0.005mg/N m ³ 以下	0.1 mg/N m ³	年 4 回
	ダイオキシン類	前処理系 0.0000058 ng-TEQ/N m ³ 液処理系 0.000089 " プラズマ系 0.00094 " その他 0.0000024 "	0.08ng-TEQ/ N m ³ 以下	0.1ng-TEQ/N m ³ 以下	年 2 回*3
	ベンゼン	前処理系 不検出(<0.09mg/N m ³) 液処理系 不検出(<0.09mg/N m ³)	45mg/N m ³ 以下	—	年 4 回*3
	硫黄酸化物 他	プラズマ系 硫黄酸化物 不検出(<K 値 0.012) 窒素酸化物 58 ppm 塩化水素 24 ppm ばいじん 不検出(<0.003g/N m ³)	K 値 0.5 以下 150 ppm 以下 100 ppm 以下 0.01g/Nm ³	K 値 1.75 以下 250 ppm 以下 250 ppm 以下 0.15 g/N m ³ 以下	年 2 回
	水銀	プラズマ系 37 μg/Nm ³	50μg/N m ³	50μg/N m ³	年 4 回
排水*4	PCB	不検出(<0.0005mg/l)	不検出 (<0.0005mg/l)	0.003mg/l 以下	年 2 回
雨水	PCB	不検出(<0.0005mg/l)	不検出 (<0.0005mg/l)	0.003mg/l 以下	年 1 回
	ダイオキシン類	0.84 pg-TEQ/l	10pg-TEQ/l	10pg-TEQ/l 以下	年 1 回
悪臭 (敷地境界)	アセトアルデヒド	不検出(<0.005ppm)	0.05ppm 以下	0.05ppm 以下	年 1 回
	トルエン	不検出(<1 ppm)	10ppm 以下	10ppm 以下	年 1 回
	キシレン	不検出(<0.1ppm)	1ppm 以下	1ppm 以下	年 1 回
騒音	騒音レベル	最大 61dB (夜間最大 60dB)	70dB (夜間 65dB)以下	70dB (夜間 65dB)以下	年 1 回

(注) *1：1期施設における洗浄工程における排気、液処理系排気及びその他の分析室換気(9月末まで作業)は、処理及び作業完了に伴い測定終了。

*2：2期施設における前処理系中間処理設備は処理完了に伴い排気測定終了。また、液処理設備においても10月中旬にて処理完了に伴い測定終了。

*3：2期施設真空加熱分離系統、液処理系統の排気中ダイオキシン類、及び対象全系統の排気中ベンゼンは当面の間は年4回測定

*4：処理工程からの排水は生じない。

○豊田 PCB 処理事業所（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

要素	調査項目	結果（最大値等）		管理目標値等	規制値 （参考）
排気	PCB	1～4 系	不検出 (<0.001mg/Nm ³)	0.01mg/Nm ³ 以下	0.15 mg/Nm ³ 以下 (平均 0.10 mg/Nm ³ 以下)
		5 系	不検出 (<0.001mg/Nm ³)		
		6 系	不検出 (<0.001mg/Nm ³)		
	ダイオキシン類	1～4 系	0.000078ng-TEQ/Nm ³	0.1ng-TEQ/Nm ³ 以下	—
		5 系	0.000062ng-TEQ/Nm ³		
		6 系	0.000057ng-TEQ/Nm ³		
	ベンゼン	1～4 系	不検出(<0.5mg/Nm ³)	50mg/Nm ³ 以下	—
		3-2 系	不検出(<0.5mg/Nm ³)		
排水	pH	浄化槽 排水	7.3 ~ 7.5	5.8 ~ 8.6	5.8 ~ 8.6
	SS		< 1	30mg/L 以下 日間平均 20mg/L 以下	30mg/L 以下 日間平均 20mg/L 以下
	BOD		1.5	25mg/L 以下 日間平均 20mg/L 以下	25mg/L 以下 日間平均 20mg/L 以下
	全窒素		13	20mg/L 以下	20mg/L 以下
	全燐		0.19	3mg/L 以下	3mg/L 以下
	n-ヘキサン抽出物質		< 0.5	5mg/L 以下	5mg/L 以下
	PCB		最終放 流口	不検出(<0.0005mg/L)	0.0005mg/L 未満
	ダイオキシン類		0.0021pg-TEQ/L	5pg-TEQ/L 以下	10pg-TEQ/L 以下
騒音	騒音レベル	66dB（夜間 65dB）		70dB 以下 （夜 65dB 以下）	75dB(A)以下 （夜間 70dB(A)以下）
振動	振動レベル	50dB（夜間 46dB）		65dB 以下 （夜 65dB 以下）	75dB 以下 （夜間 70dB 以下）
悪臭	アセトアルデヒド	0.005ppm		0.05ppm 以下	—
	トルエン	不検出(<0.9ppm)		10ppm 以下	—
	キシレン	不検出(<0.1ppm)		1ppm 以下	—

○東京 PCB 処理事業所（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	自主管理目標値	規制値 （参考）	測定頻度
排気	PCB	系統 1 0.0010mg/Nm ³ 系統 2 0.0017mg/Nm ³	0.01mg/Nm ³ 以下	—	月 1 回*1
	ダイオキシン類	系統 1 0.016pg-TEQ/m ³ 系統 2 11pg-TEQ/m ³	100pg-TEQ/m ³ 以下	—	年 4 回*2
	IPA	0.3ppm	40ppm	—	年 2 回
換気	PCB	系統 1 0.00030mg/Nm ³ 系統 2 0.00028mg/Nm ³	0.001mg/Nm ³ 以下	—	月 1 回*1
	ダイオキシン類	系統 1 0.15pg-TEQ/m ³ 系統 2 0.70pg-TEQ/m ³	5pg-TEQ/m ³ 以下	—	年 4 回*2
排水	PCB	不検出(<0.0005mg/l)	0.0015mg/l 以下	0.003mg/l 以下	月 1 回*1
	ダイオキシン類	0.49pg-TEQ/l	5pg-TEQ/l 以下	10pg-TEQ/l 以下	年 2 回
	全窒素	6.5mg/l	120mg/l 未満	120mg/l 以下	月 1 回
	n-ヘキサン抽出物質	1mg/l	5mg/l 以下	5mg/l 以下	月 1 回
	全燐	0.16mg/l	16mg/l 未満	16mg/l 以下	月 1 回
	pH	7.8 ~ 8.1	5 を越え 9 未満	5 を越え 9 未満	月 1 回
	SS	14mg/l	600mg/l 未満	600mg/l 以下	月 1 回
	BOD	7.4mg/l	600mg/l 未満	600mg/l 以下	月 1 回
	亜鉛	0.28mg/l	2mg/l 以下	2mg/l 以下	月 1 回
雨水	PCB	雨水柵 No.3 不検出 (<0.0005mg/l) 雨水柵 No.6 不検出 (<0.0005mg/l) 雨水柵 No.11 不検出 (<0.0005mg/l)	0.0015mg/l 以下	0.003mg/l 以下	年 2 回*3
	ダイオキシン類	雨水柵 No.3 3.0pg-TEQ/l 雨水柵 No.6 0.86pg-TEQ/l 雨水柵 No.11 0.68pg-TEQ/l	5pg-TEQ/l 以下	10pg-TEQ/l 以下	年 2 回*3

*1 環境保全協定書における測定頻度は年 4 回。現在は自主測定として毎月実施している。

*2 環境保全協定書における測定頻度は年 2 回。現在は自主測定として 4 回実施している。

*3 環境保全協定書における測定頻度は年 1 回。現在は自主測定として 2 回実施している。

○大阪 PCB 処理事業所（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

調査項目	棟名	系統	結果（最大値等）	自主管理目標値*	規制値（参考）	
排気	PCB	西棟	洗浄・蒸留	0.000015mg/Nm ³	0.01 mg/Nm ³	0.1 mg/Nm ³
			真空加熱分離	0.000018mg/Nm ³		
			換気	0.000076mg/Nm ³		
		東棟	液処理	0.00011mg/Nm ³		
			換気	0.00015mg/Nm ³		
	ダイキソ類	西棟	洗浄・蒸留	0.00087ng-TEQ/Nm ³	0.1 ng-TEQ/Nm ³	—
			真空加熱分離	0.000021ng-TEQ/Nm ³		
			換気	0.000056ng-TEQ/Nm ³		
		東棟	液処理	0.0065ng-TEQ/Nm ³		
			換気	0.00081ng-TEQ/Nm ³		
	塩化水素	西棟	蒸留	<0.1ppm	0.61 ppm	—
		東棟	液処理	0.2ppm		
	ベンゼン	西棟	蒸留	<0.05mg/Nm ³	0.35 mg/Nm ³	—
			真空加熱分離	<0.05mg/Nm ³		
東棟		液処理	<0.05mg/Nm ³			
アセトアルデヒド	西棟	真空加熱分離	<0.01ppm	0.1 ppm	—	
トルエン	西棟	真空加熱分離	<0.1ppm	0.1 ppm	—	
臭気排出強度	西棟	真空加熱分離	3.0×10 ² Nm ³ /min	25×10 ⁶ Nm ³ /min (維持管理値*)	25×10 ⁶ Nm ³ /min	
窒素酸化物	西棟	ボイラー	43ppm	60 ppm	150 ppm (O ₂ 5%換算値)	
	東棟		40ppm			
ばいじん	西棟		<0.002g/Nm ³	Trace	0.05g/Nm ³ (O ₂ 5%換算値)	
	東棟		<0.002g/Nm ³			
雨水排水	PCB		東西棟	<0.0005mg/L	0.0005 mg/L	0.003mg/l
	ダイキソ類	東西棟	1.0pg-TEQ/L	5 pg-TEQ/L	10pg-TEQ/l	

調査項目	棟名	時間帯	結果（最大値等）	維持管理値*	規制値（参考）	
敷地境界	騒音レベル	東西棟	朝	54	60	60
			昼間	59	65	65
			夕	59	60	60 dB
			夜間	54	55	55
	振動レベル	東西棟	昼間	33	65	65
夜間			29	60	60 dB	
臭気指数	東西棟		<10	10	10	
アセトアルデヒド	東西棟		0.002 ppm	0.05 ppm	0.05 ppm	
トルエン	東西棟		<0.9 ppm	10 ppm	10 ppm	

*：自主管理目標値は、達成に努める数値。維持管理値は、超過した場合に市へただちに報告する数値。

○北海道 PCB 処理事業所（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

要素	調査項目	結果（年間最大値等） （0内は日間平均の最大値）		管理目標値等 （0内は日間平均）	規制値 （参考）	
排気	当初	PCB	第 1 系統	0.0000037mg/Nm ³	0.01mg/Nm ³	0.10 mg/Nm ³
			第 2 系統	0.00000057mg/Nm ³		
			第 3-1 系統	0.00000064mg/Nm ³		
	第 3-2 系統		0.00000089mg/Nm ³			
	第 3-3 系統		0.0000011mg/Nm ³			
	換気空調設備		0.0000026mg/Nm ³			
	分析設備		0.00000082mg/Nm ³			
	ダイキシン類	第 1 系統	0.0000054ng-TEQ/Nm ³	0.1ng-TEQ/Nm ³	0.1ng-TEQ/Nm ³	
		第 2 系統	0.00000063ng-TEQ/Nm ³			
		第 3-1 系統	0.000030ng-TEQ/Nm ³			
		第 3-2 系統	0.0000016ng-TEQ/Nm ³			
		第 3-3 系統	0.0000048ng-TEQ/Nm ³			
		換気空調設備	0.0000023ng-TEQ/Nm ³			
		分析設備	0.00000048ng-TEQ/Nm ³			
ベンゼン	第 3-2 系統	< 0.2mg/Nm ³	50mg/Nm ³ 以下	50mg/Nm ³ 以下		
	第 3-3 系統	< 0.2mg/Nm ³				
ばいじん	熱媒ボイラー	0.002g/Nm ³	0.25g/Nm ³	0.25g/Nm ³		
硫黄酸化物		1.1Nm ³ /h	4.92 Nm ³ /h	K 値 : 4.5		
窒素酸化物		100ppm	142ppm	142ppm		
ばいじん	温水ボイラー	0.004g/Nm ³	0.3g/Nm ³	0.3g/Nm ³		
硫黄酸化物		0.24Nm ³ /h	0.86 Nm ³ /h	K 値 : 4.5		
窒素酸化物		67ppm	73ppm	73ppm		
増設	PCB	No.1 プラズマ炉	0.0000017mg/Nm ³	0.01mg/Nm ³	0.01mg/Nm ³	
		No.2 プラズマ炉	0.0000031mg/Nm ³			
		換気空調設備	0.00000091mg/Nm ³			
		分析設備	0.00000038mg/Nm ³			
	ダイキシン類	No.1 プラズマ炉	0.000023ng-TEQ/Nm ³	0.1ng-TEQ/Nm ³	0.1ng-TEQ/Nm ³	
		No.2 プラズマ炉	0.0012ng-TEQ/Nm ³			
		換気空調設備	0.0000092ng-TEQ/Nm ³			
		分析設備	0.00000047ng-TEQ/Nm ³			
ばいじん	No.1 プラズマ炉	0.002g/Nm ³	0.15 g/Nm ³	0.15 g/Nm ³		
No.2 プラズマ炉	< 0.002 g/Nm ³					
硫黄酸化物	No.1 プラズマ炉	0.00302	K 値 3.2 以下	K 値 3.2		
	No.2 プラズマ炉	0.00227				
窒素酸化物	No.1 プラズマ炉	65cm ³ /Nm ³	250cm ³ /Nm ³	250cm ³ /Nm ³		
	No.2 プラズマ炉	100cm ³ /Nm ³				
塩化水素	No.1 プラズマ炉	9.7mg/Nm ³	700mg/Nm ³	700mg/Nm ³		
	No.2 プラズマ炉	4.6mg/Nm ³				
水銀	No.1 プラズマ炉	47.5µg /Nm ³ *	50µg/N m ³	50µg/N m ³		
	No.2 プラズマ炉	1.6µg /Nm ³				
排水	当初	浄化槽 (45 人槽、 50 人槽)	pH	7.9	5.8～8.6	5.8～8.6
			SS	7 (6) mg/l	30 (20) mg/l	30 (20) mg/l
			BOD	3.8 (3.1) mg/l	20 (15) mg/l	20 (15) mg/l
			COD	8.0 (6.8) mg/l	80 (60) mg/l	80 (60) mg/l
			全窒素	6.3 (5.8) mg/l	60 (30) mg/l	60 (30) mg/l
			全リン	0.47 (0.43) mg/l	8 (4) mg/l	8 (4) mg/l
			n-ヘキサン抽出物質	< 1mg/l	5 mg/l	5mg/l
	増設	浄化槽 (90 人槽)	pH	6.9	5.8～8.6	5.8～8.6
			SS	11 (9.7) mg/l	30 (20) mg/l	30 (20) mg/l
			BOD	7.7 (6.8) mg/l	20 (15) mg/l	20 (15) mg/l
			COD	9.1 (8.4) mg/l	80 (60) mg/l	80 (60) mg/l
			全窒素	29 (27) mg/l	60 (30) mg/l	60 (30) mg/l
			全リン	0.11 (0.11) mg/l	8 (4) mg/l	8 (4) mg/l
			n-ヘキサン抽出物質	< 1mg/l	5 mg/l	5mg/l

騒音	朝/昼間 夕/夜間	敷地境界 東側北端	56dB / 56dB 55dB / 55dB	昼間 ≤70dB 朝・夕 ≤65dB 夜間 ≤60dB	昼間 ≤70dB 朝・夕 ≤65dB 夜間 ≤60dB
振動	昼間/夜間	敷地境界 東側北端	30dB / 25dB	昼間 ≤65dB 夜間 ≤60dB	昼間 ≤65dB 夜間 ≤60dB
悪臭	アセトアルデヒド	排気第3-1系統 敷地境界風下	<0.004ppm <0.004ppm	0.05ppm	0.1ppm
	トルエン	排気第3-1系統 敷地境界風下	<0.5ppm <0.5ppm	10ppm	30ppm
	キシレン	排気第3-1系統 敷地境界風下	<0.05ppm <0.05ppm	1ppm	2ppm
	プロピオン酸	排気第3-1系統 敷地境界風下	<0.0005ppm <0.0005ppm	0.03ppm	0.07ppm
	ノルマル酪酸	排気第3-1系統 敷地境界風下	<0.0005ppm <0.0005ppm	0.001ppm	0.02ppm

※規制値は、大気汚染防止法等の法令で定める値の他、廃棄物処理法の維持管理計画に定める維持管理値を記載した。

*2/14 に実施した定期モニタリングの結果が $55 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ であったことから、大気汚染防止法に関する環境省通知（平成 28 年 9 月 26 日付け環水大大発第 1609264 号）に基づき、「3 回の再測定（測定結果： $36 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ 、 $40 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ 、 $55 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ ）を実施し、初回（ $55 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ ）の測定結果を含めた計 4 回の測定結果のうち、最大値及び最小値を除いた測定結果（ $55 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ と $40 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ ）の平均値（ $47.5 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ ）」を調査結果として記載しています。